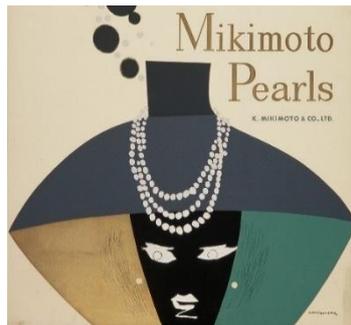


# グラフィックデザイナー 宮永岳彦

2025  
6.7 SAT ▶ 12.7 SUN



秦野市立  
宮永岳彦記念美術館  
Takehiko Miyanaga Memorial Museum of Art

| 開館時間 | 10:00~19:00  
(入館時間は18:30まで)  
| 休館日 | 月曜日(祝日の場合は翌日)  
| 主催 | 秦野市

| 観覧料 | 一般 300円  
(隣接する「弘法の里湯」をご利用の方は200円)  
高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料  
| 協力 | ペンてる株式会社 小田急電鉄株式会社

# グラフィックデザイナー 宮永岳彦

2025 6.7 SAT ▶ 12.7 SUN



松坂屋「全店中元大売出し」  
ポスター 1950年



「浅草観音蔵門竣工浅草大観光祭」  
ポスター 1964年



『週刊漫画 TIMES』表紙原画  
制作年不明



秦野市 第31回たばこ祭ポスター 1978年



小田急「箱根ゴールデンコース」  
ポスター 制作年不明



《翔》油彩画 80F 1980年



HONEYMOON 全日空  
全日空「ジェットスのハネムーン」  
1967年



『日本橋』表紙原画 1982年

大正時代に生まれ、昭和という激動の時代を駆け抜けた洋画家・宮永岳彦(1919~1987)は、日本のデザイン界をけん引した商業デザイナーでもありました。

宮永は大衆と共に時代を体現する表現者として、一歩先を行くその感性で、復興から高度経済成長へと転じる時代に湧きあがる日本人の憧れや夢を満たし続けてきました。

宮永が手掛けたポスター、雑誌の表紙画、商品パッケージなどのデザイン作品は、現代に生きる私たちが見てもはっとするような新鮮さに満ちています。

本展では、ポスターや表紙画を中心とするグラフィックデザイン作品群とともに、後年の宮永美人画の大作をあわせて展示し、宮永デザインの魅力と、宮永芸術への発展を探っていきます。

「芸術家も社会の一員である」との信念のもと、大衆と時代に寄り添いながら、デザイン、純粋芸術の両分野に大きな足跡を残した宮永の、人々の夢を現出する才能をお楽しみください。

## 宮永岳彦 (1919-1987)

「光と影の華麗なる世界」と称される美人画で知られる宮永岳彦は、父親の転勤のため静岡県磐田郡(現在の磐田市)で生まれ、名古屋市立工芸学校に学びました。2度の兵役後、実家のある秦野に帰り、松坂屋百貨店銀座店宣伝部に勤務しながら、1946年から15年間、秦野市名古屋のアトリエで創作活動を続けました。二紀会の設立に参加、1979年には日本芸術院賞を受賞、1986年には二紀会理事長に就任。油彩画をはじめ、ポスター、童画、表紙画、挿絵、水墨画など多彩な作品を残しました。

表 右上 時計パネル 制作年不明、右中 『日本橋』表紙原画 制作年不明、右下 小田急「新型特急ロマンスカー」ポスター 制作年不明、中央 Mikimoto Pearls ポスター 1958年  
左上 全日空「ジェットブロップフレンドシップ」ポスター 制作年不明、左中 横浜みなと祭第25回国際仮装行列ポスター 1977年、左下 オール読物ポスター 制作年不明

### 美術館へのアクセス

- ◆小田急線 鶴巻温泉駅より徒歩2分
- ◆駐車場 弘法の里湯と共用  
40台 / 1時間150円  
以降30分ごとに100円



## 秦野市立 宮永岳彦記念美術館

〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北3-1-2  
TEL/FAX 0463-78-9100

《隣接》公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL 0463-69-2641